

タナゴの飼育を通じて、水環境を考える。

ぼてじゃこトラスト

代表 荒木 克巳

平成九年度活動記録

平成9年3月31日

1月15日

大津市内田上地区で、河川改修の計画があるとの聞き込みで、調査に出かけた。

田圃の中の中2メートル強の自然河川でした。地域や農業組合の要望があるにしても、現況で残したい思いは参加した3名ともに同感でした。

市の土木課としては、改修要望が市会審議をへて、決定されている限りは如何とも、なし得ないとの事でした。

市議員経由で再審議請求の道はあるにしても、地域要望は覆えずことは困難視されます。地域の方々は自分たちの自然が壊されるのに、痛痒を感じないのだろうか？

こうしてジョジョに市内の自然環境が、消滅していく行政や社会の構造を、かえていける時代が果たして来るのか？

市民の意識改革と言っても、長い年月の努力がいりましよう。

緑と山と水と空気に関係のある、工事に付いては「県の環境自治委員会」の、「環境アセスメント」と、NGOの各種団体の「環境アセスメント」を、平衡的に行なって意見摺り合わせの上で、計画決定する様に形態に、なんとしてでも早くしたいと思いました。せめて「環境自治委員会」メンバーに、NGO代表が採用される道はないのでしょうか？

3月23日

大戸川ダムの為に、湖底に沈む鳥居村の実態調査に出向く。

往路に立派な代替地と建築された、家々をみて歩きました。

廃村と決まった地域で、お年寄りの何人かとお話ししましたが、口々にこの地を離れたくない。新しい村と新築の家はあっても、我々にはなじめないこんな嘆きが、多かったです。

よろしかったら差し上げるとの事で、信楽焼きの大水瓶を買って帰りました。

3月30日

タカラハーモニストに問い合わせた所が、平成8年度報告と9年度交付申請の期限との事でした。

徹夜で仕上げるからと、明朝の速達便を承知して貰って作成する。

会計報告で使途明細やら、伝票との適合に手間取り、行動報告がおざなりな物になり大変申し訳けなく思っています。

平成9年度交付金50万円は、残高19万円強でした。平成9年度行動計画を勘案して30万円の追加申請をしました。

5月6日

タカラハーモニストファンドより電話が入りました。

交付助成金額は15万円と決定した。

6月5日には振込むので、振込み口座の明細を提出せよとの事で、有り難く戴く事としました。

5月13日

FM滋賀より電話が入り、県のエコーライフ課の推薦で、「ぼてじゃこトラスト」の1分間放送を行いたいので、取材訪問したいとの事でした。

笠さんと協議して取材を受けました。

後日連絡が入り「7月中旬午後5時44分」から、1分間放送するとの事でした。

5月18日

6月1日の湖北、湖西の調査行の通達を出しました。

総員で162名の登録がありますが、行動不参加の方も多いため、葉書で確認の返事を下さいと求める。

6月1日

長浜駅前午前10時に集合する。

市内の河川で網と瓶づけによる調査の結果、「カネヒラ」が棲息確認出来た。

近所の人話しでは、今年は例年になくアユの遡上もあり、「カネヒラ」も久しぶりに眼にするとの事でした。原因は少し上流の麻の製糸工場が廃業して、廃液が流れなくなった所為と思うとの事でした。

10月3日

平安神宮に願を出して魚採取する。

水温低下のためか魚の動きが鈍くて、採取数は期待出来ないとおもった通り、18匹の大陸バラタナゴ、とイチモンジタナゴの当歳魚6匹の採取に終わる。

10月23日

平安神宮より連絡が入り、魚の集まる新しいポイントが見つかったとの事で再度の採取に出向く、午後2時から閉園まで採取したが、タイリクバラタナゴ22匹のみだった。やはり魚の採取は産卵期前後が最適と思われる。

平成10年3月7日

琵琶湖博物館の好意で研修室を借用して、総会兼の講習会を開催する。参加者48名でしたが秋山学芸員の、タナゴの種類と琵琶湖周辺の生態系の変化、業者による不当な乱獲の報告、会員による水槽飼育の際の二枚貝の死滅、水槽で増殖の方法についての同氏への質疑応答の後、博物館の展示水槽の裏面の設備、展示補充用の飼育水槽設備、温度管理や水質管理設備など、特別に見せて戴くことが出来ました。

その後に美濃部会員が水槽飼育で二枚貝に産卵に成功して、タナゴ3匹が半年で3センチ程度に育った報告がありました。

事務局でも昨年1年間魚は全然死亡させていないのに、二枚貝は採取数の半分近くは産卵に用いることもなく死滅させている苦い経験を報告して、来年は飼育条件を変えて実験して見たいと報告しました。

3月22日

草津市水環境館の依頼で、「こんなに楽しい水辺の遊び」と題した、集会で児童保護者一般市民対象の行事に協力して、笠会長がヨーロッパ諸国の河川改修のあり方、荒木がタナゴを代表者とする生態系底辺に近い子魚の視線から、自然生態系の保護や水質の改善の在り方、遊びを通じての身近な河川との接触や、昨年8月22日に滋賀大学湖沼センター中心の、琵琶湖周辺の河川調査



タナゴよ伝えて 環境保護の思い

伏見・神川小

「親善大使」に2校に卒業記念

環境保護を呼びかけるため、京都市内の小学校へ派遣される「タナゴ親善大使」が、京都府伏見区・神川小の卒業生に「親善大使」の称号を授け、卒業記念として2校に派遣された。これは、環境保護を呼びかけるため、京都市内の小学校へ派遣される「タナゴ親善大使」が、京都府伏見区・神川小の卒業生に「親善大使」の称号を授け、卒業記念として2校に派遣された。

飼育の数十匹奇贈へ

飼育の数十匹奇贈へ。環境保護を呼びかけるため、京都市内の小学校へ派遣される「タナゴ親善大使」が、京都府伏見区・神川小の卒業生に「親善大使」の称号を授け、卒業記念として2校に派遣された。



ボテジャコを放流する参加者たち

タナゴを増やそう

参加者、池へ放流 水環境考える講座

水環境を改善して、魚類が住みやすい水環境を創出するため、ボテジャコ(タナゴ)の放流活動を行いました。参加者は、ボテジャコを放流するだけでなく、水環境について学びました。また、ボテジャコを放流するだけでなく、水環境について学びました。

の結果と、琵琶湖の水質より全燐、全窒素でみるかぎりでは、流入河川の水質の方がはるかに悪くなっている実状を報告して、生活排水や企業排水の見直しを呼び掛けました。

参加者児童25人に施設内の池に、タナゴと二枚貝を放流して貰いました。

3月30日

南郷水産センター久保飼育課長に面会して、輪虫や玉ミジンコの人工増殖の方法について実際を見学させて頂きました。

4月以降に時期を見て、アキア琵琶湖の会議施設を拝借して、ヤリタナゴの人工孵化と稚魚飼育の方法の講義をお願いしました。

なお年間通じて同数人で、琵琶湖周辺河川流域での、生息調査を数回実施していますが日時と地域に就いての報告は遠慮させて頂きま。理由は業者に情報が漏れますと、たちまち乱獲されてしまう事実があるからです。

自然界が支える人の命

ぼてじゃこトラスト 代表取締役 荒木 克己さん

「ぼてじゃこ」は、生業を営む人々を支えるための命を、ぼてじゃこトラストが、自然を愛する人々から、自然の恵みを受け、人と自然が共生できる環境をつくることを目指しています。



「私は自然の恵みを受け、次世代に伝えるために、ぼてじゃこトラストを創設しました。自然の恵みを受け、人と自然が共生できる環境をつくることを目指しています。」

ぼてじゃこ通信 第1号

1997.10.1

ぼてじゃこトラスト事務局
荒木克己・竺文彦

ボテジャコトラスト事務局の皆さん平素活動ご苦労様です。私は昨年4月まで、日野川の中流添いにある公的機関で勤務しておりましたが異動により、愛知川上流の政所にあります消防出張所の勤務となり皆さんと活動できなくなっています。私は、約2年間12匹のボテジャコを飼育していましたが、今年4月全滅させてしまいました。水槽を掃除している時に、油が入ったのが原因ではないかと思えます。

現在は、5月に入り日野川で3匹(雄2匹、雌1匹)捕まえブルーギル3匹と同じ水槽で飼っています。ブルーギルが影響しているのか、雄2匹の色が鮮やかにできています。放流増殖池を模索中とのことですが、私の家の近くに沢山の溜池がありますので一度来ていただければ、ご案内したいと思います。24時間勤務ですので次の日は非番となります。

勤務場所 八日市消防署東消防出張所
☎ 0748 29-0111
自宅 蒲生郡蒲生町川合1577
☎ 0748 55-1668

蒲生郡蒲生町川合1577番地
柴田茂和

527

大津市 中庄二丁目8-37
藤所小学校
石田昌利
石田昌利

お葉書ありがとうございました。2学期が始まり、学校に子どもたちが戻って来ました。夏休みの間静かな学校で過ごしたぼてじゃこもびっくりにしているのではないかと考えています。投稿のお誘いがありましたので、短いものですがよろしく願います。

藤所小学校の「ぼてじゃこ」

「ぼてじゃこトラスト」からいただいたぼてじゃこの水槽は職員室前のローカに置いてあります。休み時間や放課後、子どもたちは水槽の前を通るたびに水槽の中をのぞきこんでいます。中には水槽の前に座り込んで、じっと魚の様子を見つめている子どももいます。子どもたちが一番興味を示すのは「えさ」を与えるときです。えさがもたらえるのを感じて水面に上がってくるぼてじゃこを、子どもたちは目を丸くして見ています。「あれがオスで、こっちがメスやな。」と友達と話している姿も見られます。これからも、ぼてじゃこが元気に育つよう、子どもたちと世話をしていきたいと思いま

美濃郡水戸泉一九一
美濃部真滋



528

(1)

近況をお知らせします。
 この夏は不景気で、八幡堀・西の堀近くの川、田野川の3ヶ所へ釣り
 に行きました。普通は釣れたのはブルーギル、後の二ヶ所では、このブルーギル
 が釣れませんでした。八幡堀では大物も釣れませんが、種類数
 は多いです。全長10cm余りのフナが主流であるに15cmを超えるコイも釣れ
 ました。
 琵琶湖博物館の淡水魚入門講座に通っています。講義編に続き、9月
 には3回にわたる実習編です。「魚類の調査法」「魚類採集調査」「魚軍魚の
 採り方」を案内いたします。

近江
 橋本市町二丁目3
 大澤
 利幸

523

大阪府大東市 諸福 6-8-33-103
 武田 広志
 (ぼてトラ会員)

前略
 さぞくですか 「ぼてじゃこ」に関
 する投稿募集という事でこの
 第1弾を送稿させていただきます。
 去る6月1日の長浜・高島方面
 探索に参加した後、単独で
 マキノ町内で稚魚を採取し
 持帰ったところ 2匹か立派な
 「ぼてじゃこ」に成長しております。
 体長は3.5~4cmといったところで
 「バラタガ」なのか「カネトラ」なのかは
 判断つきかねています。
 簡単ですが以上で 近況報告
 まで

果立 びわこ博物館でぼてじゃこ
 の飼育をしてもらう様子を
 一人には見せてもらえな
 かった。ぼてじゃこ 今更
 に見せて頂けるとよろし
 うかとお願いいたします。
 草津市青地町
 幸野 五郎
 昭三

事務局より。
 小学校の皆さんイラストまで入れて、
 お手紙ありがとうございます。
 あなた方の願いを無駄にしない様頑
 張ります。
 会員諸氏にお知らせします、飼育指
 導や琵琶湖博物館飼育現場見学の件
 今しばらくお待ち下さい。事務局は
 現在COP-3に向けての、市民グ
 ループ活動に忙殺されています。

(2)

仲秋の候、貴校にお礼を申し上げます。ぼてじゃこさんへは、
 日頃の研究を重ねられ、琵琶湖のぼてじゃこに注目を
 祈らることは、とても感謝しております。
 一昨年、ぼてじゃこをソノタマエ、一年中が飼育しており
 ました。ついで、最近、残念ながら、死んでしまいました。
 それで、水槽セラトをソノタマエ、お礼を申し上げます。
 いたるべく、お顔、致すところを、
 小澤様にお知らせし、池への呼びかけの件や、お礼、
 保護者と共に作られた池があります。周囲が、お礼、
 難が冬に、お礼、致すところを、お礼、
 も、お礼、致すところを、お礼、
 32003

大津市伊香立生津町
 伊香立小中学校
 三浦朝子

竺さん、荒木さん、会員の皆さん、いつもお世話
 になっています。
 私の出身は、びわ町です。琵琶湖や川の近くに住
 みながら、あまり魚釣りをした記憶がありません。
 しかし、今振り返ってみると、田圃の脇を流れる小
 川、そこに魚が泳ぐ姿、川に入って魚を追いかける
 姿といった風景は、心のどこかに残っています。
 ぼてじゃこトラストが発足したときに、自分の原
 風景に照らし合わせて参加をさせていただきました。
 ポテジャコの生態や種類など、講演会でいろいろお
 聞きして、とても興味がわきました。まだ、家では
 ポテジャコを飼っていませんが、いずれ飼いたいと
 思います。飼育方法などを教えていただければ大変
 うれしいです。
 私の子供（5歳の息子）は、生き物が好きで、
 特に魚が大好きです。何とか、子供にもポテジャコ
 を見せてやりたいので、ぼてじゃこトラストで池に
 放流される計画などがあれば、子連れで参加したい
 と思います。
 これからもよろしく願います。
 〒520 大津市朝日が丘2-3-9
 阿部圭宏
 TEL/FAX 0775-22-2997
 E-mail yoshi-ab:mx.biwa.or.jp

大津市立仰木の里東小学校
 教頭 田村明雄

新涼の候、貴校には益々清栄のこととお慶び申し上げます。昨年度、水槽と
 ともにポテちゃんが本校にお嫁入りしたのがついこの間のように思われますが、
 月日のたつのは早いものだと思えます。さて、ぼてじゃこさんは、
 たいへん元気ですごしております。本校の障害児学級で飼われており、Nくんの
 お世話で大きく育っております。夏休み中は、教室から職員室へ引っ越しし、教
 頭がNくんに替わって一夏お世話いたしました。
 隣接して、メダカの水槽がありえさも共用しておりました。新学期になり、ま
 たNくんにお世話をゆだねますが、美濃部氏のように産卵までいたるといいの
 ですがこればかりはわかりません。2世、3世と誕生をお知らせできる日を楽し
 みにしております。

(3)

荻木克己様
 ほてじゃこトラストの活動いつも御世
 話になりありがとうございます
 真野北小学校では、環境教育の一ツレ
 としてほてじゃこの飼育観察をしています。
 児童の作文も同封していただきます。
 今後もよろしくお願いたします。

真野北小学校 白井隆司

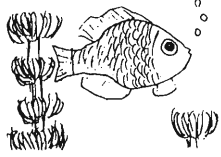
真野北小学校より子供のため
 作文を送っていただきました。
 (事務局)

真野北小学校 6年2組

タナゴさんについて
 私は先生がもらって、くる迄、
 タナゴという名前も知らなな
 した。見た事もありませんでし
 た。先生の話によると昔はあち
 こちにタナゴがいっぱいいた
 そうです。
 でも、ここ数年アルキルや
 ブラックバス、自然破壊によ
 りあまりみかけなくなりました。
 人間が水辺のまじやまじ
 を刈った為、色々なお魚さんの
 住処がなくなりブルーギルや
 ブラックバスにばかりと食
 べられ、たそがれです。
 、ああかわいそうなたナゴさん
 でああかわいそうなたナゴさん
 コナさん生まれてからも食
 べられてしまう未来はま、くら
 ああかわいそうなたナゴさん
 たち。
 べから、タナゴさんを私たち
 のクラスで飼ってタナゴさん
 たくさんふやして、また、産卵
 湖へもとしてあげたいです。

「私達を取り巻く環境について
 今、私達の生活する地球が危
 機に瀕しています。それは、私
 達人間が、自然を壊し、沢山の
 生物を絶滅させたり、土地を砂
 漠化させたりして、環境破壊を
 進めて行っているからです。こ
 の状態をどうにかしなければな
 りません。やはり、どんなに簡
 単な事でも、出来る事をしてい
 かなければなりません。まず、
 たいふ手を加えてしまった自
 然を戻さないとはいけません。と
 言っても、これ以上手を加えな
 い方が良くないです。そして、
 資源をこれ以上減らさなくして良
 い物、リサイクル出来る物を考
 えて、地球上にあそびの問題
 も考えていかねばなりません。
 この「かけかえのな地球」も、
 地球の今まで温めて来た歴史も、
 私達で減してはいけません。」

ほてじゃこ
 H8・10月3日
 ほてじゃこをおく。てくれて
 どうもありがとうございました。
 めずらしい魚をもらったので
 大切に育てます。
 想像していた以上にきれいだ、た
 のでとてもびびりしました。
 きれいな魚なのに、少なくなっ
 ているのも、たいがいです。
 今はほてじゃこはなくなっ
 てきているのが、びびって居
 ます。
 ほてじゃこがいなくなると
 は、農漁やコンクリート化し
 た為です。みがかうはわけてか
 いそうだなあと思えました。
 私たちが、大人になつた
 そういうことは、
 したくありません。



(4)

環境破壊

地球は、今と、ても木がなくなつて来ている。だから木を切るのをやめたいと思ひます。でも木を切らないと、生きて行けません。農薬や放射能、酸性雨などは体に悪し環境にも悪い。えいぎょうをあてていきます。いまの日本は、のうやくを使ひすぎなので、また、いさひるなことを、考へたいです。そして、化学を発達したいです。それで、生き物を守りたいです。これからの地球の環境破壊は、したくありません。人間や生物に自然の恵みがたくさんある地球にしたいと思ひます。工業が発展すると、人間にも害があるおそれがある。たとへば、イタイタイ病、水俣病などです。そんな事があるから、心配です。人間が悪し事をするとやがては、人間に帰つて来ます。そんな事をなくすために地球を守りたいです。

そして、水をきれいにする種物、「ホテイ草」をたくさんふやして、また昔のようにぼてじががすめるような水にしたいと思ひました。

そのためには、人間も、川や海に、マキカンなどの、ゴミをすてないように、努力をした方がいいと、思ひます。

それは、濠原をせみんむが大切にする事です。

僕達の地球

ぼくたちの地球は、太陽の光が降り注いでいます。地球には、いろいろな生き物が住んでいます。でも、人間が地球を壊すことがあります。工場や車の排気ガスが、空気を汚します。森林を切り倒すことで、動物の住みかたがなくなつていきました。地球をきれいに保つて、みんなが元気に暮らせるようにしたいです。

ぼくたちの地球は、色々な生物が共同生活している。地球の生物は、夜物運鎖の統かりたなつていける。人間もその一つであら、人間達は自分達の手で、そのつながりをわがそうと為して居る。しかも人間達は地球の環境をつぶしていつたから、も、と人間達は地球の事を考へなごや、いけなひ。

これからが、環境はかいてくいとめようと思ひ、でももう手おくれかもしれない。でもこのままの環境をたもつていたら地球に自然がもどるかもしれない。だから、こちからはほんりもどせるだけかけかひのな地球をまもち、ていきたい。

これから稲穂湖に、いっぱい、ぼてじが、こがせんせんいたくなつた。地球の自然に目をむけるまへにみじがな自然をまもち、ていきたいです。

ぼてじがこトラスト

ぼてじがこトラスト

ぼてじがこトラスト

ぼてじがこトラスト

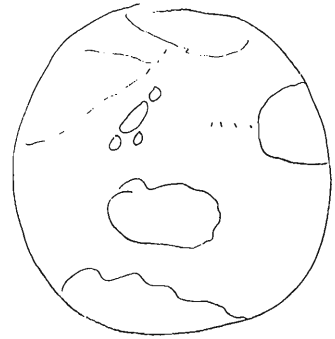
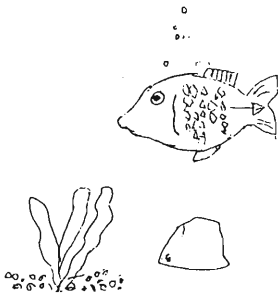
(5)

地球環境について

清水 健司
田中 健吾
石富 隆

ぼくたちは、自然の一部ではない。母なる地球環境を壊してしまっている。そして、そのいきよを受けて居る地球上の生物は少なくはない。又、人間もいきよを受けている。この事について、ぼくたちも考えなくしてはならない。そこで、環境に良い事をしなくてはならない。例えば、リサイクル、日光の力や、風力を使う事ができる。しかし、文明が発達して来て工業がさかんになつて、いま、ついに、公害というおそろしい物が発生した。その中でも、ひどい物は、四大公害と言う。その原因は、入りが工場から、毒となる物質を流し、その水が、魚の住の中に、たまつて、その魚を人間が食べると、水俣病と言ふ、おそろしい、公害病にかつてしまう。また、魚も農薬などで、次々と死んでいっている。たなごもそのうちの一つである。このまま、農薬を使いつづけると、絶滅の脅かもしれない。

ない。それは、ぼくたちが守らなくては、ならない。そこで、リン入りのせんぷいを使つてはいけない。だから、無リンの、せんぷいを使つたほうがいいから、みんなも、協力して下さい。そして、二十一世紀かとも良く、明るい世の中に、なっているであろう。それに、公害が、減ると、もう、と良い世の中になるだろう。



環境の問題 琵琶湖

赤潮のせいでは琵琶湖がよくなつてしまつた。みんがから魚も死んでしまつた。工場のはい水で、魚が死んでしまつた。その水は、人が食べて、病にかかるといふ。この魚も死んでしまつた。この水は、人が食べて、病にかかるといふ。この魚も死んでしまつた。

汚れた川の水

今、私達の教室では、色々な生き物を飼っています。めだか、ブルーギル、さわがに、たにし、かわにな、大ナメクジ、ゴールデンハムスター、ジャンガリアンハムスター、おたまじやくし、サリガニ、カマキリ、グッピー、メナゴイ、コケ、プランクトン などです。中庭の池には、鯉、エンゼルフィッシュ、フナ、金魚、もろこがいます。また、小屋には、にわとり、うさぎ、ウコッケイ、スズメがいます。中でも、メナゴイは、熱帯魚、他の魚などくらべ物にならないくらいきれいです。初めて見てびっくりしました。昔は川の下流の辺にたくさん見られたそうです。でも今は、私は見た事がありません。水がすこく汚れてきているからです。私は、これからの川をきれいにして、生き物を大切にしていきたいです。

滋賀県環境ボランティアリスト

(平成9年1月現在)



ボテジャコトラスト

連絡先◆大津市瀬田(大江町横谷)1-5 龍谷大学理工学部物質科学科 3号室
TEL 0775-43-7470 0775-22-7831 (夜間・荒木克巳)
FAX 0775-43-7483

滋賀県

●活動内容

ボテジャコ(タナゴ)類の棲息する水環境を、調査して回復の条件を探る事。児童含む同志での実地棲息環境調査、飼育を通じて人工繁殖の方法を普遍化する。二枚貝の水槽飼育は専門家でも、難しいとされるが方策を探りたい。

小学校に魚と飼育器具の配布をして、その美しさを広報したい。

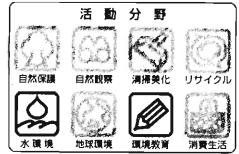
放流池を確保して自然繁殖させたい。(手本となる自然棲息池の条件調査)

●滋賀の環境についてメッセージ

かつては琵琶湖に大量に自然発生していた、ボテジャコが現在は殆どいない。ブラックバス、ブルーギル、の所為にされるが、此等も人間の生態系を考えない、無作為放流のためです。二枚貝の棲息も激減しています。繁殖地減少の一つの原因とも思われます。農薬化学物質の流入も、稚魚に大きな負荷をしているのではないのでしょうか。京都平安持守の神泉苑の池には、少なくとも三種のタナゴ類がいます。ボテジャコ、ホンモロコいのいない琵琶湖は品民の恥として呼びかえしたい。

●他の団体との交流・メンバー募集

○他の団体と積極的に交流したい。
○広く活動メンバーを募集したい。
ボテジャコの生息水域をご存じの方は情報を下さい。但し無難な情報はいたしません。また発表もしませんが、無難な放流も致しません。現在は助成金交付で資金繰りしています。民間企業の理解ある助成をお願いします。今年は小学校22校に、魚と飼育器具の交付が出来ました。水槽器具の不要品寄付をお願いします。希望小学校がまだ残っています。



子供たちによる放流風景

- 活動エリア/主に近畿一円
- 会員数/105名
- 会費/ない

